医師職（公衆衛生） 平成２９年１２月１９日実施

論文考査の問題

我が国では、社会環境や生活習慣の変化、さらには高齢化の進行に伴い、悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患など生活習慣と関わりの深い疾患が、主要死因の５割を超え、生活習慣病の発症の予防や、重症化による死亡を防ぐ早期発見・重症化予防の取組みの必要性が増している。

特に、大阪府においては、府民の健康寿命が全国と比較して低い状況（男性第43 位、女性第47 位（平成25年時点））にあり、死因の上位を占める生活習慣病の予防及び重症化予防は、増大する医療費や介護給付費を抑制する上でも、喫緊の課題となっている。

なかでも、人工透析には１人月額約40 万円を要し、人工透析患者のうち、原疾患が「糖尿病性腎症」である者が43.7％（平成27年時点）と最も多い状況にあり、寝屋川市が人工透析患者を対象に実施した調査によると、高血圧および糖尿病を初めて指摘されてから人工透析治療に至るまでの平均期間は、高血圧が19.8年、糖尿病が13.4年であったという報告もある。

以上のことを踏まえ、府民の健康寿命の延伸と医療費の適正化の観点から、糖尿病性腎症の重症化予防のため、大阪府としてどのような取組みが必要か、資料１から３を参考とし、課題を挙げた上で、課題解決に向けた具体的な取組みを提案しなさい。また、提案した取組みを進める上で、府、市町村、関係機関等が果たすべき役割について、あなたの考えを述べなさい。

**資料３　第２次大阪府健康増進計画（計画期間：H25年度～H29年度）における指標別の評価結果一覧**

＜評価＞Ａ：目標値に達した　Ｂ：目標値に達していないが改善傾向　Ｃ：変わらない　Ｄ：悪化している



出典：第３次大阪府健康増進計画（素案）

出典：第３次大阪府健康増進計画（素案）